

革新事業採択の経緯について

1 革新事業創造戦略の概要

- 本戦略は民間提案を起点として、社会課題の解決と地域の活性化を図る官民連携プロジェクトの創出に向けた愛知県の取組の枠組みを示し、Aichi-Startup 戦略と両輪で愛知発のイノベーションを創出し、国際イノベーション都市への飛躍を図る。
- 「あいちビジョン 2030」の重要政策分野を踏まえ、7つの重点政策分野(①健康長寿、②農林水産業、③防災・危機管理、④文化芸術、⑤スポーツ、⑥GX(グリーン・トランスフォーメーション)、⑦DX(デジタル・トランスフォーメーション))を設定し取組の方向性を示している。
- 民間からのイノベーション創出に向けた提案を受け付ける「革新事業創造提案プラットフォーム(愛称:A-idea)」を運営し、有識者で構成される「革新事業創造戦略会議」を中心に、同プラットフォームから優れた提案を抽出し、提案の具体化についてワーキンググループを設置し検討を行う。

○推進体制



2 第4回革新事業創造戦略会議の選定・審査結果

- 2月17日までに18件のアイデア提案を受付。うち10件(※1)が審査を希望。
- 事務局にて事前に審査する案件を抽出(※2)し、3月24日の第4回革新事業創造戦略会議で株式会社プロドローンの提案が審査の結果、採択に至った。

(※1) 分野の内訳(重複含む)

【健康長寿】3件、【農林水産業】2件【防災・危機管理】4件、【スポーツ】2件、
【GX】1件、【DX】4件、【その他】3件

(※2) 採点項目に対する評価が不可能である案件や、基本審査項目における採点結果が一定点数を下回る提案を審査対象から除外。

○評価結果

- 戦略会議では、自社領域を超えた空と道の新たなモビリティ社会の将来像に革新性があると評価。
- 愛知県としても、これまでドローンや自動運転の実証実験・社会実装に向けた取組を積極的に実施している点や自動車産業・航空宇宙産業の集積地という特性を活かせる点に加え、愛知県基幹的広域防災拠点と連携した防災の観点や新たな産業の創出といった観点で県の目指すべき姿と合致すると評価。



あいちモビリティイノベーションプロジェクト
「空と道がつながる愛知モデル2030」として取り組んでいく

革新事業創造戦略会議 構成員(団体名等、職名は第4回革新事業創造戦略会議時点のもの)

	属性		団体名等	職名	氏名
1	学 識 者	地域経済	中京大学経済学部	客員教授	内田 俊宏 【座長】
2		イノベーション	名古屋大学学術研究・ 産学官連携推進本部	教授	鬼頭 雅弘
3		都市政策	南山大学総合政策学部 総合政策学科	教授	石川 良文
4	イノベーション 関係者		STATION Ai 株式会社	代表取締役 CEO	佐橋 宏隆
5			株式会社 LEO	代表取締役 CEO	粟生 万琴
6	経 済 界		(一社)中部経済連合会	イノベーショ ン推進部長	山下 哲央
7			名古屋商工会議所	産業振興部長	佐藤 航太
8	県		愛知県経済産業局	革新事業創造 部長	柴山 政明